

主催者からのお願い

■ 競技進行上の注意

1 競技方法について

- (1) 競技は、2015年(一社)日本マスターズ水泳協会競技規則に則り行います。4月1日より競泳競技規則が一部変更になりました。選手は、後記の競技規則をご理解の上、出場をしてください。
- (2) 競技は、すべて男女別・年齢別のタイムレース決勝とします。
- (3) 年齢は、暦年齢(2015年12月31日現在の満年齢)とします。
- (4) 競技は、観客席から向かって右側のA面(25m×8レーン)と左側のB面(25m×8レーン)の二面で同時に行います。B面では800m・1500mの長距離種目のみを行い、招集場所もそれぞれに分かれておりますので自分の泳ぐ種目がA面かB面かをご確認の上、招集所へお越しくください。
- (5) 25m・50m・100m種目及びリレー種目は、エントリーに従い男女別・年齢区分別に組み分けを行い高年齢から低年齢へ遅い組から速い組への順で行います。ただし、競技進行の理由により、一部複数の年齢区分で組み分けを行う組もあります。

(6) リレーについて

- ① リレーオーダーの変更は、指定の用紙に必要事項を全て記入の上(プログラムNo、組、レーンも記入)変更締切時間までに、インフォメーションデスクへご提出ください。変更のない場合は提出の必要はありません。

No.11. 12. 21. 22. 23. 24 男女・混合メドレーリレー 10時00分まで

No.35. 36. 47. 48. 49. 50 男女・混合フリーリレー 13時00分まで

- ② 変更は1度のみとなり、年齢区分の変更はできません。
- ③ 同一リレー種目の場合は、年齢区分にかかわらず1人1回しか出場できません。
- ④ リレー種目の招集は、4名が揃わないと招集受付できません。
- ⑤ リレーの第2泳者以降で水中からのスタートを希望するチームは、必ずインフォメーションデスクにて指定の用紙で申告または招集所で申し出が必要です。許可なく水中からスタートするためにプールに入った場合、失格となります。なお、世界記録に挑戦するリレーチームはFINAのルールが適用されるため、第2泳者以降が水中からスタートした場合、世界記録は認められません。

2 チームリーダーミーティングは、8:20～A面招集所にて行います。

競技上の注意事項や規則改定について連絡します。必ずチームの代表者1名が出席してください。今年度の規則改定について説明します。

3 ウォーミングアップについて

- (1) 時間は1頁をご覧ください。
- (2) メインプール(A面・B面)の水深は、1.4mです。右側通行を厳守し、お互い気を付けて行ってください。サブプールは水深1.2mです。
- (3) A面・B面とも、ウォーミングアップ(公式スタート練習を含む)終了まで、1～3レーンを女性専用とします。
- (4) A面はウォーミングアップ開始時より、スタートダッシュレーンといたします。いずれもスタート側から一方通行とします。
- (5) 飛び込みの技術練習や安全な知識の指導については参加チームで行い、特に、初めての出場者は十分な配慮のうえご参加ください。

4 招集

- (1) 招集では、招集員に組・レーン・名前を自己申告し招集受付をしてください。この際に選手確認のため、IDカード(誓約書欄に署名が無い場合は無効)を提示してください。
- (2) 25m・50m・100m・200m・400m種目の招集はA面の招集所で、招集用の掲示板により競技開始の20分前から行います。また、800m・1500mの長距離種目の招集はB面の招集所で行います。自分の出場する種目の2レース前までにお越しくください。競技の進行をご確認のうえ、招集遅れの

ないように注意してください。

(3) 招集所では「第○組」と組が呼ばれます。ご自分の出場する組であれば招集員に「組・レーン・名前」を自己申告し、招集受付を済ませ、指示に従い並んでください。

ご自分の組とレーンは、忘れないように、また、間違わないように申告してください。

(4) リレー種目は、出場者4人が揃わないと招集受付できません。4名揃ったら、泳ぐ順に各人が自己申告し、招集受付をしてください。

(5) 招集受付を済ませないと如何なる理由であれ棄権となり出場ができません。

(6) 出場申告後、やむを得ず棄権する場合は招集員まで申し出てください。

(7) 組み分けした種目で棄権者が多数出た場合は、前後の組と合同で競技を行う場合があります。

5 スタートについて

(1) スタート前のメインプールでの水浴びは禁止です。水浴びはプールサイドに「水浴び用バケツ」を用意していますので、そのバケツで行ってください。

(2) 前の組がスタートしたらスタート台の後ろに立ち、自分のレーンを確認してください。組・レーンを間違えると失格になります。

(3) 新型スタート台を採用していますので、速やかにバックプレートの調整を行ってください。

(4) 公式スタート練習は、8:30~8:50に行います。公式スタート練習は、スタート規則の確認であり、飛び込み練習ではありません。

(5) マスターズ水泳のスタートは、①スタート台上、②プールデッキ、③水中からのスタート、が許されています。初めて競技に出場する選手や飛び込みの練習をしていない選手は、安全面から、プールデッキや水中からのスタートをお勧め致します。

6 プールの上がり方~オーバー・ザ・トップです。

(1) 個人種目の場合、ゴールタッチした選手は、レーンロープにつかまり次の組がスタートしてから横退水（1~4レーンは1レーン側、5~8レーンは8レーン側）してください。（自分のレーンからも可能）

(2) 25m種目は、次の泳者がゴールタッチするまでに、速やかに上がってください。

(3) リレー種目は、ゴールタッチした選手は競技役員の指示に従い、他の選手の妨げにならないよう、また、タッチ板に触れないようの注意してプールから上がってください。

7 申告が必要な方

大会参加にあたって、以下の項目に該当する方は事前に申告が必要です。

① 世界記録に挑戦する方

② 障がいをお持ちで競技規則違反になる可能性がある方

③ テープ等（テーピングテープ・絆創膏）をされる方

④ リレーの第2泳者以降が水中からスタートするチーム

※ ①世界記録に挑戦する方は、【8 世界記録申請および日本記録・世界記録該当者の水着着用について】を確認してください。

※ ②~④に該当する方は、「出場申告用紙」に必要事項を記入のうえ、対会当日インフォメーションデスクへ提出してください。エントリー時に申告している方は再度申告の必要はありません。

※ 出場に介助が必要な障がいをお持ちの方は、チームから介助者を帯同してください。

その際、介助者は招集席からスタート席まで付くことはできますが、スタートの介助はできません（水中と一緒に入ることは不可）。ゴール後は役員の指示を優先し介助してください。

※ テープ等の使用状況を確認します。指や関節を固定するテーピング、筋肉を補強するキネシオテープ等、申告を行っても許可できない場合がありますので注意してください。

エントリー時に申告した方も、当日テーピング状況の確認が必要です。必ずインフォメーションデスクにお立ち寄りください。

8 世界記録申請および日本記録・世界記録該当者の水着着用について

世界記録の達成が予想される選手およびチームは、出場するレースの1時間前までに規定用紙に必要事項を記入のうえ、インフォメーションデスクへ申告してください。国際水泳連盟（F I N A）が認定している世界記録を突破した場合、その記録をF I N Aへ申請します。申請の際、計時員3名の

測定が必要なため、インフォメーションデスクへの申告をもとに計時員3名を配置しますので、必ず申告をしてください。また、世界記録が達成された場合、泳者の生年月日を証明する「パスポートのコピーまたは、住民票のコピー（3ヶ月以内のもの）」が必要となりますので準備してください。世界記録のFINAへの申告にはFINA承認水着の着用確認が必要です。世界記録を出す可能性がある選手はFINA承認マーク付き水着の着用をお願いします。競技終了後、水着着用の写真を撮影します。また、世界記録申請用紙記入の際、水着のメーカー及び承認番号を記入してください。日本記録に関しては、レース前及びレース終了後FINA承認水着の確認をします。承認水着を着用していない選手の記録は新記録としては認められません。

9 表彰について

- (1) 出場選手全員に参加章および(一社)日本マスターズ水泳協会公認記録証を授与します。
- (2) 個人種目、リレー種目とも各会場の男女別・種目別・年齢区分別の上位3位までメダルを授与します。ランキング発表後入賞者は、メダル受渡所にて各自メダルを受け取ってください。その際、IDカードまたはマスターズ登録カードを提示してください。
- (3) マスターズ世界記録・日本記録を突破した選手には世界記録突破証・日本新記録樹立証を授与します。競技終了後、直ちにプールサイドで行います。
- (4) チームの代表者の方が、出場者のメダルを代わりに受け取ることはできません。

10 異議申し立て

競技開始前に判明した異議は、そのレースの出発の合図の前までに、審判長に文章にして提出してください。競技の失格内容や状況等に異議がある時は、そのレース終了後30分以内に抗議書に内容を記入し、抗議料5,000円を添えてインフォメーションデスクに提出してください。抗議書の内容を大会総務で検討し裁定いたします。

なお、抗議の申請は、チームの責任者に限られます。(一般選手からの抗議の申請は出来ません。)抗議内容が承認された場合は抗議料を返金しますが、抗議内容が却下された場合は抗議料は返金しません。

その他、違反内容の問い合わせについては、規定の用紙に記入のうえ、インフォメーションデスクに申し出てください。

11 健康管理

- (1) 参加者の健康管理は本人の責任とし、各自で十分留意して下さい。
- (2) 各チームは所属する参加者について次のことを確かめてください。
 - a. 医師の健康診断または自己申告に基づいて健康に異常がないこと。
 - b. 競技会当日より前1ヶ月間、週1回以上の水泳練習を行っていること。
 - c. 会場における事故等については、すべて参加者側において処置してください。(応急処置は行います)
 - d. 「マスターズ水泳キーワード9」をよくご理解のうえ、参加してください。

12 貴重品の管理

貴重品は、個人またはチームで管理してください。選手控え室・観客席・プールサイドに小銭入れ・カードケース・携帯電話を入れた袋を放置したままウォーミングアップを行い、その間に盗難に遭うケースがよくあります。仲間同士で管理しあうようお願いします。

13 IDカードについて

- (1) 二次要項同封のIDカードの誓約書欄に必ず署名してください。署名が無い場合は招集が受けられません。また、裏面の対会当日緊急時の連絡先の記入も忘れずをお願いします。
- (2) 大会当日IDカードを紛失および忘れた場合は、会場のインフォメーションデスクにて再発行手数料500円を支払い、再発行を行ってください。

14 カメラ・ビデオ・携帯電話機での撮影許可について

撮影許可証なしでカメラ・ビデオ・携帯電話による撮影をすることは出来ません。

選手・応援の方でカメラ・ビデオ・携帯電話での撮影を希望される方は、事前の配付された撮影許可申請書に必要事項を記入のうえ、正面玄関受付に提出し撮影許可証(カード)を受け取ってください。

この際、撮影許可証（カード）は保証金1,000円と引き替えになります。なお、お帰りの際、撮影許可証（カード）と交換で保証金1,000円を返却致します。

撮影許可証は、必ず競技役員や警備員から見える場所に付けてください。許可証を付けずにカメラ・ビデオ・携帯電話での撮影をしている不審者を見かけた場合は、近くの警備員、競技役員へご連絡ください。また、撮影許可証があっても、アリーナ内での撮影はできません。

15 施設利用の注意事項

(1) 更衣室・選手席

会場の出入口は、正面玄関のみとなります。選手席は2階観覧席のみで、更衣室は1階となり、アリーナへの出入りは更衣室からとなります。観覧席からアリーナへ降りることはできません。

(2) アリーナ・更衣室は履物禁止となります。アリーナへ入場の際、必ず素足になり履物は各自袋に入れてご利用ください。

(3) 会場内での飲食は観覧席でお願いします。アリーナ内および更衣室での飲食は禁止です。

(4) 指定された場所以外への立ち入り、付属施設・備品などを無断で使用しないでください。

(5) ゴミは、各チームで持ち帰ってください。必ずゴミ袋を持参してください。

(6) 施設は喫煙禁止です。喫煙は所定の場所で行ってください。

(7) 参加者用の駐車場はありません。お車でのご来場は禁止します。

16 チーム受付は、各チームの代表者が行ってください。競技開始前に正面玄関受付で、チーム受付票を提出してください。参加章・プログラム（予約クラブのみ）・公認記録証をまとめて渡します。

17 競技結果は、男女別・年齢区分別に公式掲示板（館内2階ロビー）に発表します。

18 大会当日緊急時の連絡先について

申込時およびIDカードに記入の大会当日緊急時の連絡先については、事故・怪我の発生など万が一の際に使用します。これらの目的以外で使用することはありません。チームの責任者の方も下記のとおり、準備をお願いします。

※ 緊急時連絡先とは、選手のご家族等に急を要する連絡の取れる電話番号のことです。

(1) 責任者が会場へ同行される場合

出場者全員の緊急時の連絡先を把握し持参してください。

(2) 責任者が会場へ同行しない場合

大会当日、緊急時の連絡先についての問合せをした際に伝えられるよう準備してください。

■ その他

① ランキングを申し込まれたチームは、後日申し込みのチームへ送ります。

② リレーオーダー変更用紙・棄権の申出用紙は、コピーしてご利用ください。

③ 競技役員が着用します、オリジナルTシャツは当日会場で販売いたします。出場記念に是非買い求めください。

④ 大会当日、天変地異や天候条件等によりやむを得ず大会が中止となった場合は、「参加章(バッジ)」「プログラム(申込分)」はチームへお渡しいたしますが、エントリー料は返金できません。

■ 個人情報の取扱について

大会に参加いただく際に円滑な事務作業を推進するためにチーム情報ならびに個人情報をご提出いただいております。お預かりした情報は適切かつ慎重に管理し、紛失・漏洩がないよう努めます。また、今大会のプログラム・ランキング作成を含む大会運営と大会記録管理に関する業務に利用しますが、それ以外の目的で使用・提供はしません。

なお、当会場は、ランキング等を協会ホームページにて公開します。

また、不要になったチームおよび個人情報書類は責任を持って廃棄いたします。

協会委託会社：有限会社東洋電子システム
以上

■ (一社) 日本マスターズ水泳協会競泳競技規則 (抜粋)

(1) 出発について (背泳ぎを除く)

- a. 自由形・平泳ぎ・バタフライおよび個人メドレーのスタートは、スタート台、プールデッキおよび水中の何れからでもできる。
- b. 審判長の長いホイッスルによりスタート台またはプールデッキに上がった競技者は、スタート台前方またはプールデッキ前縁に少なくとも一方の足の指を掛けなくてはならない。
- c. スタート台またはプールデッキからスタートする競技者が、審判長の長いホイッスルによりスタート台前方またはプールデッキ前縁に出た時に、誤ってプールに落ちた競技者は水中からスタートするものとし、失格にはならない。ただし、出発合図員の「用意」の号令の後に落ちた場合は、フォルススタートしたと見なされ、その競技者は失格になる。
- d. 水中からスタートする競技者は、審判長の長いホイッスルによって水に入り、直ちにスターティンググリップを片手または両手で持ち両足を壁につける。

(2) 背泳ぎについて

- a. 競技中は、泳者の身体の一部が常に水面上に出ていなければならない。折返しの間、およびスタート後、折返し後の壁から15m以内の距離では、身体は完全に水没していてもよいが、壁から15mの地点までに、頭は水面上に出ていなければならない。
- b. 折返しの動作中は、肩が胸の位置に対して垂直以上に裏返しになってもよく、その後は連続動作として速やかに行う片腕のかきあるいは同時の両腕のかきを折返しの初期動作として使用することができる。壁にタッチをして折返す場合は、壁に手がついた後に折返しの動作が開始されるので、壁に身体の一部が触れるまで仰向けの姿勢を維持しなければならない。

(3) 平泳ぎについて

- a. スタートおよび折返し後の一かき目は、完全に脚のところまで持って行くことができる。その間競技者は水没状態であってもよい。スタート及び折返し後の最初の平泳ぎの足の蹴りの前にバタフライキックが1回許される。
- b. 折返しおよびゴールタッチは、両手が同時にかつ離れた状態で行わなければならない。タッチは水面の上下どちらでもよい。折返しおよびゴールタッチ直前は足の蹴りにつながらない腕のかきだけになってもよい。

(4) バタフライについて

- a. 全ての足の上下動作は同時に行わなければならない。両脚・両足は同じ高さになる必要はないが、交互に動かしてはならない。一かきに一回の平泳ぎの足の蹴りが許される。折返しおよびゴールタッチの直前は、一かきを行わずに一回の平泳ぎの足の蹴りが許される。また、スタートおよび折返し後の一かき目の前も、一回の平泳ぎの足の蹴りが許される。
- b. 折返しおよびゴールタッチは、水面の上もしくは下で、両手が同時に、かつ離れた状態で行わなければならない。
- c. 泳者はスタートおよび折返し後は、水面に浮き上がるため、水中での数回のキックと一かきが許される。スタートおよび折返しの後、身体は完全に水没していてもよいが、壁から15mの地点までに頭は水面上に出なければならない。また、次の折返しあるいはゴールまでは、1ストロークの動作中に身体の一部が水面上に出ることを条件に身体が完全に水没することは許される。ただし、水面に浮き上がるための水中での一かきおよび一けりを除き、水没した状態で泳法を行うことは許されない。

(5) リレーについて

第2泳者以降が水中からスタートする場合は、事前に審判長に申し出ること。

(6) 水着の規定について

競技会で着用できる水着は、競技会開催日に本協会が公表している水着規程に準じる。

(7) リレー競技の第一泳者の途中計時、および1500m自由形における800mの途中計時は、公認記録とはならない。